

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会
平成28年度第1回（第28回）合同会議議事概要

開催日及び場所	平成28年7月14日（木） 中央合同庁舎第8号館8階特別中会議室
委員	委員長 國廣 正 （弁護士） 委員 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明 （横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授） 委員 寺田 麻佑 （国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科准教授） 委員 長岡 美奈 （公認会計士）
議事	○平成27年度 第3・4四半期の契約に係る審議 ○その他

○平成27年度 第3・4四半期の契約に係る審議

審議対象期間	平成27年10月1日～平成28年3月31日	
【一般競争入札】 総合評価落札方式	<p>○対象期間における契約の全体（内閣官房76件・内閣法制局該当なし・内閣府266件）について事務局から説明</p> <p>○審議案件抽出の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低落札案件について、その理由を確認する。 ・低落札案件で入札者が複数の場合、競争原理が働いた結果であればよいが、予定価格の設定に問題がないか確認する。 ・低落札案件で1者応札のものについて、予定価格の設定見直しや、場合によって随意契約へ切り替えのうえ、値引き交渉等により契約額を下げるできないか。 <p>さらに以下の観点から各案件を絞込み</p>	
審議抽出案件	4件（うち1件第3四半期案件、3件第4四半期案件）	
【一般競争入札】 総合評価落札方式	<p>（官房）1件 （関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低落札案件となった理由、予定価格の設定に問題がないか確認したい。 	<p>契約件名：個人番号カード等マイナンバー制度利活用による効果に関する調査研究</p> <p>契約相手：（株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所</p> <p>契約金額：4,536,000円</p> <p>契約日：平成28年2月22日</p> <p>担当部局：内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室</p>

<p>【一般競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>(府) 2件 (関心事項) ・低落札案件となつた理由、予定価格の設定に問題がないか、上記の2事業を並列して確認したい。(低落札となつた各事業の共通点、違いはあるのか確認したい。)</p>	<p>契約件名：プロフェッショナル人材戦略ポータルサイト構築及び運用 保守事業 契約相手：(株)オーエムシー 契約金額：2,773,224円 契約日：平成27年10月14日 担当部局：内閣府地方創生推進室</p> <p>約件名：平成27年度災害時の記録映像の収集・整理及び大規模地震のシミュレーション映像作成に関する業務 契約相手：(株)放送映画製作所 契約金額：5,713,200円 契約日：平成28年1月8日 担当部局：内閣府政策統括官(防災担当)</p>
<p>【一般競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) 1者応札で低落札案件となっているため、予定価格の設定の問題がないか、随意契約への切り替えのうえ、値引き交渉により契約額をさげることができないか確認したい。</p>	<p>契約件名：地方財政制度等の改革に関する経済効果のモニタリングについての調査研究 契約相手：(株)価値総合研究所 契約金額：1,080,000円 契約日：平成28年2月26日 担当部局：政策統括官(経済社会システム担当)</p>
<p>委員からの意見・質問 それに対する回答等</p>	<p>別紙のとおり</p>	
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

別紙

意見・質問	回答
1 個人番号カード等マイナンバー制度利活用による効果に関する調査研究	
予定価格はどのように作成されているのか。	市場価格調査で入手した参考見積書を参考にしながら予定価格を作成している。
低落札案件となった理由はなにか。	これまでの豊富な実績によるノウハウや人的ネットワークをもって、効率的かつ効果的な調査の遂行が実施できる見込みがあること、また本調査の社会的意義から当該価格で入札したとの回答を業者から得た。
低価格で良い成果が出ているのか。その確認がどこまでできているのか。	作業を行っている段階で毎週打ち合わせや電話等で全部中身をチェックして質問項目を出して回答をもらうことを繰り返し、一定の働きをしてもらった。
2 ・プロフェッショナル人材戦略ポータルサイト構築及び運用保守事業共通発行管理システムの開発業務 ・平成27年度災害時の記録映像の収集・整理及び大規模地震のシミュレーション映像作成に関する業務	
各案件の予定価格の算定方法はどのように行っているのか。	複数者から入手した参考見積書を参考にしながら予定価格を作成している。
ポータルサイトの事業はかなり落札率が低く、これで所期の目的は達成できるのか。	複数者から提案がありヒアリングを通じて、実際に点数審査を行い、この業者がしっかり業務を行えるか判断した。
コンピュータ関係における予定価格と実際の本当の市場価格は相当ずれているのではないかと。幅広に市場価格を調べてはどうか。	今後、市場価格調査の期間をこれまでより長くしたり、メールマガジンの内容を工夫して多数の業者から見積書を提出してもらうよう努力したいと考える。
3 地方財政制度等の改革に関する経済効果のモニタリングについての調査研究	
1社応札で低落札案件となっているが、予定価格は問題ないか。	複数者の見積書を参考に一番安い価格を見て予定価格を積算している。
本案件は非常に非定型的な新しい調査研究であり、本当に内容の質を高め良い成果をあげることが重要である。	有識者の方々の知見もできるだけ取り入れることにより、調査研究の内容の充実に努めている。
○その他	
<ul style="list-style-type: none"> 資料7：平成27年度「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システム導入課題詳細調査」のコンソーシアムについて及び資料8：共通発行管理システムの開発業務の参考見積価格と入札価格の差異について、事務局から説明後、議論。 	